

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	3296
平成18年度部名	土木部	課名	道路補修課	課長名	石川正次
平成19年度部名	土木部	課名	道路補修課	課長名	石川正次
事務事業名	私道路の簡易舗装事業				
予算上の事務事業名	私道路整備事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32220		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				
施策名	第2施策 身近な生活道路の整備				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市私道路敷整備要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	平成元年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
私道の舗装を行い、市民の利便性の向上を図る。	沿道住民、通行者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
工事請負費 2,537,350円 4路線 107.9m 舗装整備面積 358㎡					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	7,801	6,783	2,538	6,000	6,000
一般財源	7,801	6,783	2,538	6,000	6,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	807	805	805	805	805
事業コスト合計	8,608	7,588	3,343	6,805	6,805
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	私道路整備事業			対象名称 と単位	箇所数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	8,608	7,588	3,343	6,805	6,805
対 象 数	8	5	4	5	5
単位あたり経費(円)	1,076,000	1,517,600	835,750	1,361,000	1,361,000
前 年 度 比		1.41	0.55	1.63	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	箇所数	指標式と指標の説明		箇所数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	8.0	5.0	4.0		
目標	8.0	5.0	4.0	5.0	5.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	箇所数	指標式と指標の説明		箇所数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	8.0	5.0	4.0		
目標	8.0	5.0	4.0	5.0	5.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		建築に当たって最低限必要とされている4m道路として、整備することは、良好な街づくりに資するとともに、市民の安全性の向上を図る事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
申請を受けた年度内に舗装工事が終了していることから、現行の方法で十分と考える。			私道の所有権はそれぞれ所有者にあり、補修後の管理は所有者が行うこととなるため、適正な維持管理が困難である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			